

| | | | | |
|------|---------------------|----------------|--|-------|
| 科目名称 | 病態治療論 I (呼吸・循環機能障害) | 学年学期 | 単位数 | 時間数 |
| | | 2 学年前期 | 1 | 30 時間 |
| 担当教員 | 濱口 直彦 重見 晋 | 授業に関わる 実務経験 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 (医師) <input type="checkbox"/> 無 | |

【1】 授業概要

呼吸機能の作用と障害・治療について学ぶ。
循環機能の作用と障害・治療について学ぶ。

【2】 学習目標

1. 呼吸器の構造と機能、呼吸機能障害の症状と病態生理、検査と治療について述べるができる。
2. 循環器の構造と機能、循環機能障害の症状と病態生理、検査と治療について述べるができる。

【3】 第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心を持ち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

| | 内容 | 主な授業形態 | 講師 |
|----|-------------------|--------|-------|
| 1 | 呼吸器の構造と機能 | 講義 | 濱口 直彦 |
| 2 | 症状とその病態生理 | 講義 | 濱口 直彦 |
| 3 | 検査と治療・処置(1) | 講義 | 濱口 直彦 |
| 4 | 検査と治療・処置(2) | 講義 | 濱口 直彦 |
| 5 | 疾患の理解(1) | 講義 | 濱口 直彦 |
| 6 | 疾患の理解(2) | 講義 | 濱口 直彦 |
| 7 | 疾患の理解(3) 全体のまとめ | 講義 | 濱口 直彦 |
| 8 | 心臓・血管の構造と機能 | 講義 | 重見 晋 |
| 9 | 循環器疾患の検査 | 講義 | 重見 晋 |
| 10 | 循環器疾患の内科的治療・外科的治療 | 講義 | 重見 晋 |
| 11 | 循環器疾患の病態と症状 | 講義 | 重見 晋 |
| 12 | 血圧異常と不整脈 | 講義 | 重見 晋 |
| 13 | 循環器疾患と治療(1) | 講義 | 重見 晋 |
| 14 | 循環器疾患と治療(2)、総演習 | 演習・講義 | 重見 晋 |
| 15 | 筆記試験 | | 濱口・重見 |

【5】 評価方法

科目評価は筆記試験、授業態度等で総合的に評価する。
病態治療論 I (呼吸機能障害・循環機能障害) の総合での評価

【6】 教科書

川村雅文：系統看護学講座 専門分野 成人看護学(2) 呼吸器 第16版 医学書院 2026 電子版)
吉田俊子：系統看護学講座 専門分野 成人看護学(3) 循環器 第16版 医学書院 2026 (電子版)

【7】 参考書

【8】 受講生へのメッセージ